

衆議院議員当選祝賀会開かれる

平成17年10月18日午後6時30分から、霞が関の法曹会館において、日本弁護士政治連盟及び同東京本部共催により、衆議院議員当選祝賀会が開催された。議員側は、弁政連が支援する新衆議院議員（代理出席を含む）に加え、若干名の参議院議員が出席され、出席総数44名の多数に上った。弁護士側の出席者も久保井一匡理事長、梶谷剛日弁連会長をはじめとする弁護士会の各役職者や多数の会員が出席し、盛大な会合となった。

式次第は、まず久保井理事長が、今回の選挙が21世紀型選挙ともいふべき斬新なものであった旨の感想と日頃の弁護士会活動への支援に対する御礼等を述べ、次いで梶谷会長が、予期しえない突然の選挙に迅速に対応され当選されたことへの驚嘆と敬意、日本司法支援センター開設をはじめとする司法改革諸課題の実行に対する支援等を要請する挨拶を述べた後、東京本部東谷隆夫本部長が乾杯の発声をして、宴会が始まった。

酒肴を共にしながら議員と会員との熱心な懇談が続く中で、到着順で順次、当選議員から挨拶がなされた。盛況の中で尽きるともなく懇談が続いたが、約2時間経過後、平山正剛理事長代行の中締により、その後適宜、散会となった。

周知の選挙結果のとおり、今回の出席者は前にも増して自民党所属議員が多数を占め氣勢が上がっていたが、他党の議員も弁護士出身者が多く、会員の中に多数の知己があつて、負けずに存在感を示され懇親をされていたのが大変印象的であった。次の参議院選挙まではおそらく当選祝賀会はないと思われるが、弁政連にとって重要な会合の一つであり、今後も益々盛会となっていくであろう。さらに多数の会員の出席を期待したいものである。

なお、今回の衆議院議員選挙の結果、弁護士登録している衆議院議員は29名となった。弁護士登録している参議院議員は14名である。

（副幹事長 鈴江辰男）



2年6ヶ月の国会 対応で得た雑感

日本弁護士政治連盟副幹事長
(日本弁護士連合会前事務次長)

鈴木善和



平家物語が「祇園精舎の鐘の声…」と諸行無常を説いて始まるのと同じく、日本国憲法が「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、…」(前文)と代表民主政を宣言して始まることは多くの人に知られている。

合衆国憲法の起草者は、この代表民主政について、「世論が、選ばれた一団の市民たちの手を経ることによって洗練され、かつその視野が広げられる。その一団の市民たちは、その賢明さのゆえに、自国の真の利益を最もよく理解しうるのであり、また、その愛国心と正義心とのゆえに、一時的なあるいは偏狭な考え方によって自国の真の利益を犠牲にするようなことが最も少ないとみられるのである。」とその積極的意義を説明している。

マスメディアで弄ばれる国会議員像は、必ずしも芳しくない。しかし、私が、様々な課題で、与野党を問わず数多くの国会議員の方々と接して得たものは、広い視野に立って世論を洗練させ、真の国民の利益が何であるかを常に真摯に考えてその職責を精力的に果たしている議員像であった。

思い起こしただけでも、司法制度改革課題では、裁判員制度、日本司法支援センター、行政訴訟改革、知的財産高等裁判所、弁理士の訴訟代理権問題、司法書士の訴訟代理権問題、隣接法律専門職者のADR代理権問題、そして最後のメインとなった弁護士報酬敗訴者負担問題と司法修習生の給費制廃止問題。他にも、会社法改正、監獄法改正といった既に成立した立法課題。日弁連が強く反対する共謀罪や問題点の多い少年法改正問題。更には既に現実の政治課題となった憲法改正問題、関連して国民投票法案、教育基本法改正問題。或いは人権擁護法案や臓器移植法案から在外被爆者支援問題等々。

様々な課題で各党の先生方の警咳に接しつつも、執行部の一員として日弁連意見・立場を出来る限り実現すべく日々永田町界限と霞が関の弁護士会館を往き来していたことは、自らのこととしても充実した時を過ごせたことに、感謝しなければならない。

このような思いから記したものが、日弁連新聞のコラム(平成17年9月1日号「ひまわり」)にある。一部をここに抜粋したい。

「…内閣提出法案は法制審等の審議会、内閣法制局、与党の法案審査等を経て提出される。与党の政策決定が先行することもある。この間に日弁連では意見書や会長声明を出している場合も多い。

審議会には日弁連推薦委員が参加しているのも普通のことである。しかも日弁連意見どりの法案にならないことがまた多い。こうして国会に提出された法案を跳ね返すのは至難である。しかし何とかしなければ執行部の責任は果たせない。国会対応が必要な理由がここにある。ここで一番大切なことは舞台が国会であり議員は国民代表であることを意識することである。議員への説得力とは国民への説得力である。これは我々が国民を説得できる理と言葉を持っているのかに掛かっている。この点裁判員制度に似ている…」

日弁連は、司法制度改革に主体的に取り組む中で、国の様々な分野での政策決定過程において存在感を増してきた。特に、弁護士報酬の敗訴者負担問題を事実上与野党合意の上で廃案に追い込んだことは、各方面に大きな波紋を投げかけたのではないかと思う。

これからの日弁連に求められるのは、重みを増した存在感に相応しい責任を取れる意見表明とその実現のための誠実な活動であろう。

勿論、これを全国国民の代表である国会議員と同列に論ずるべきではない。しかし、弁護士の使命が基本的人権の擁護と社会正義の実現にあることに照らすと、その弁護士を束ねる立場にある日弁連には、部分利益を追求するのではなく、しかも自らが世論の一つとなるのでもなく、正に広い視野において世論を洗練するという責務があると思われるからである。

弁政連が推薦しご当選された 衆議院議員の方々からの抱負

所属党、選挙区
現在の主な役職
(平成17年12月6日現在)
抱負



高村 正彦

自由民主党、山口1区
なし
日本の未来への安心のための法整備
に全力を尽くします。



柴山 昌彦

自由民主党、埼玉8区
衆議院決算行政監視委員会理事
司法制度改革の更なる推進と公正な
社会の実現のため尽力します。



杉浦 正健

自由民主党、愛知12区
法務大臣
改革を進め、より身近で信頼される
司法を目指し頑張る所存です。



谷 公一

自由民主党、兵庫5区
自民党副幹事長
改革の先頭を走ってきた司法制度改
革。人の想いを大切に、全力で。



棚橋 泰文

自由民主党、岐阜2区
自民党国際競争力調査会会長
弁政連の皆様は今後ますますのご活
躍を祈念いたします。



津島 雄二

自由民主党、青森1区
自民党税制調査会顧問
立法と司法の垣根をこえて、公正で
明るい日本の未来を拓きたい。



長勢 甚遠

自由民主党、富山1区
内閣官房副長官
公正で実効的な司法の確立をめざし、
諸課題に取り組めます。



西田 猛

自由民主党、大阪9区
財務大臣政務官
司法の国民主権徹底のため司法改革、
裁判員制度等宜しく支援下さい。



早川 忠孝

自由民主党、埼玉4区
衆議院法務委員会理事
国民の声に耳を傾けながら、しなや
かで勤い国づくりを進めます。



茂木 敏充

自由民主党、栃木5区
衆議院予算委員会理事
構造改革の推進や企業統治などの制
度改革にしっかり取り組みます。



森山 眞弓

自由民主党、栃木2区
自民党司法制度調査会会長
党の党紀委員長を仰せつかりました。
誠心誠意冷静に心をかけます。



与謝野 馨

自由民主党、東京1区
内閣府特命担当大臣(金融経済財政政策)
国と地方の行財政見直し 国公務員の
定員人件等 政府系金融機関統廃合



枝野 幸男

民主党、埼玉5区
民主党憲法調査会長
民主主義の原点を踏まえ、法の支配
を徹底させるよう努力します。



小沢 鋭仁

民主党、山梨1区
民主党団体交流委員長
「司法を国民の手に」を合い言葉に
皆様と共に全力で取り組みます。



加藤 公一

民主党、比例東京(東京20区)
民主党役員室長代理
公正な司法制度実現のために、全力
で取り組んでまいります。



小宮山 洋子

民主党、比例東京(東京6区)
民主党次の内閣 子ども/男女共同参画/人権・消費者担当大臣
子どもたちがいきいきと育ち、安心
して子育てできる社会を作る。



仙谷 由人

民主党、徳島1区
民主党「次の内閣」厚生労働担当
国民の目線に立って、リーガルマイ
ンドを生かす政治を目指します。



伴野 豊

民主党、比例東海(愛知8区)
衆議院予算委員会委員
中学生が十分理解できる法律・司法
制度をとものにめざしましょう。



平岡 秀夫

民主党、比例中国(山口2区)
衆議院法務委員会筆頭理事
巨大与党の横暴を許さない少数精鋭
の野党を目指して頑張ります。



平野 博文

民主党、大阪11区
民主党総務局長
司法制度のバランスある発展で、日
本を自由で活力ある社会に。



古川 元久

民主党、愛知2区
民主党税調会長
年金、税金、そして憲法、我国の最
重要課題に取り組みます。



細川 律夫

民主党、比例北関東(埼玉3区)
衆議院予算委員会筆頭理事
巨大与党の横暴にストップをかける
よう、全力でがんばります。



山田 正彦

民主党、比例九州（長崎3区）
衆議院農林水産委員会理事
司法制度改革のなかで離島・地方の
深刻な弁護士不足を解消したい。



横路 孝弘

民主党、北海道1区
衆議院副議長
憲法を生かし、人権を守り、平和で
安心できる社会をめざします。



漆原 良夫

公明党、比例北信越
公明党幹事長代理
司法制度改革総仕上げと共に全ての
改革に全力で取り組んで参ります。



大口 善徳

公明党、比例東海
衆議院農林水産委員会委員
総合法律支援体制確立のため、人的・
物的整備に努めます。



斉藤 鉄夫

公明党、比例中国
衆議院文部科学委員会委員長
司法制度改革のシンボルとしての法
科大学院成功に向けて頑張るぞ



富田 茂之

公明党、比例南関東
前法務副大臣
日本司法支援センターが順調にスタ
ートする様全力を尽くします。



福島 豊

公明党、大阪6区
衆議院厚生労働委員会理事
高齢者・障害者の権利擁護の法制度・
体制整備に向け努力致します。



照屋 寛徳

社会民主党、沖縄2区
社民党副党首
憲法改悪反対、個人の尊厳が守られ
る社会の実現を目指します。

平成17・18年度 日本弁護士政治連盟役員名簿

自 平成17年6月1日
至 平成19年5月31日

理事長	久保井一匡（大阪）	安藤猪平次（兵庫県）	相川 泰男（東京）
理事長代行	平山 正剛（東京）	那須 國宏（愛知県）	中島 彰彦（東京）
副理事長	山内 堅史（東京）	河原 昭文（岡山）	白井 一廣（東京）
	三羽 正人（東京）	吉野 正（福岡県）	小笠原勝也（第一東京）
	吉岡 桂輔（東京）	鈴木 宏一（仙台）	神 洋明（第一東京）
	東谷 隆夫（第一東京）	後藤 徹（札幌）	鈴江 辰男（第一東京）
	久保利英明（第二東京）	佐長 彰一（香川県）	吉成 昌之（第二東京）
	小林 嗣政（横浜）	安藤 良一（東京）	奥野 滋（第二東京）
	小川 憲夫（大阪）	若旅 一夫（東京）	高村 順久（大阪）
	水野 武夫（大阪）	伊藤 茂昭（東京）	樋口 一夫（第一東京）
	高階 貞男（大阪）	小林 元治（東京）	小堀 樹（東京）
	谷口 忠武（京都）	鈴木 善和（東京）	
		幹事長	
		副幹事長	
		監事	
		顧問	

弁政連活動日誌(8)

自 平成16年10月1日
至 平成17年12月31日

10月6日	在京正副理事長会議	4月23日	弁政連四国支部定期総会に平山理事長代行が出席
10月15日	中部弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席	4月25日	大阪弁護士会役員就任披露パーティーに児玉副理事長が出席
10月20日	民主党との朝食会・在京正副理事長会議	5月26日	在京正副理事長会議・定期総会・国会議員を囲む懇談会
10月21日	公明党との朝食会	6月3日	民主党との朝食会
10月22日	中国弁連大会に平山理事長代行、安藤幹事長が出席	6月14日	群馬支部と群馬選出の国会議員との意見交換会に平山理事長代行が出席
10月29日	九弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席	7月6日	在京正副理事長会議
11月12日	四国弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席	7月8日	東北弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
11月15日	民主党との懇談会	7月13日	公明党との朝食会・自民党との懇談会
11月16日	在京正副理事長会議	7月22日	北弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
11月17日	保岡、森山両議員との懇談	9月21日	在京正副理事長会議
11月25日	弁政連横浜支部設立総会に久保井理事長、三羽副理事長、安藤幹事長が出席	9月30日	関弁連大会に久保井理事長、三羽副理事長、安藤幹事長が出席
11月26日	近弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席	10月14日	中国弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
12月10日	弁政連四国支部設立総会に久保井理事長、三羽副理事長、安藤幹事長が出席	10月18日	在京正副理事長会議・衆議院議員当選祝賀会
平成17年		10月19日	日弁連理事会で久保井理事長、安藤幹事長が弁政連活動についての協力要請
1月20日	在京正副理事長会議。久保井理事長、安藤幹事長、関弁連常務理事会で支部設立等要請。新年会（東京本部と共催）	10月21日	中部弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
1月29日	弁政連静岡支部設立総会に久保井理事長、三羽副理事長、吉岡副理事長、安藤幹事長が出席	10月28日	九弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
2月16日	民主党との朝食会・在京正副理事長会議	11月14日	在京正副理事長会議
2月18日	公明党との朝食会	11月18日	四国弁連大会に安藤幹事長が出席
3月4日	自民党との朝食会・在京正副理事長会議	11月25日	近弁連大会に久保井理事長、安藤幹事長が出席
3月18日	日弁連理事会で久保井理事長、平山理事長代行が司法改革推進議員連盟への協力を要請	11月30日	弁政連ニュース編集会議
4月15日	在京正副理事長会議	12月13日	在京正副理事長会議

編集後記

衆議院議員選挙の結果、今後の日本の歩みがどのように展開されることになるのか注視したいと思います。（あんど）

先頃の衆議院議員選挙は、劇的な結果となりました。弁護士会も強いリーダーシップが求められているのでしょうか？（あいかわ）

愛知、富山、金沢、福井及び岐阜の各弁護士会を訪問し、弁政連が担うべき役割を再認識しました。（うすい）

身分が保障される弁護士に対し、「小泉劇場」の観客から選択を受ける議員の先生方は本当に大変だと感じました。（すずえ）

本年発足する日本司法支援センターを、奉仕精神ではなく、十分な財政基盤に支えられたものとすべく、弁政連の活動を強めてゆきたいと思ひます。（よしなり）